

平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調査

整理番号

社会 4

■ 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	05	01	05	01
	細事業名	青少年教育事業				

担当部署	教育委員会事務局
担当課等	社会教育課

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ③ 若者の育成 施策方針 1 青少年の健全育成
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 体験活動の実施や関係団体への支援を通して、京丹後市の将来を担う青少年の心豊かな人間形成の基礎づくりを目的とする。 事業の目的 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 様々な体験活動の実施と放課後や休日における子どもの居場所づくり

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 青少年を対象とした体験活動(キャンプ、自然観察、陶芸、木工)や映画会、京都工芸繊維大学との連携による理科わくわく体験教室の実施した。21事業(51回);延べ2,089名が参加。また、青少年健全育成会(6団体:640千円)、児童合唱団(4団体:852千円)、地域子ども教室(9教室:1,500千円)などへ活動支援を行った。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 様々な体験活動や地域住民との交流による青少年の健全育成 青少年の各種育成団体への支援による組織の活性化

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	8	172	国庫支出金		
	9	94	府支出金		
	11	176	起債		
	13	17	分担金・負担金		
	14	179	その他		
	19	3,149			
			一般財源		3,787
事業費合計		3,787	合計		3,787

CHECK					
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由 各種青少年団体の育成や組織体制の再編など停滞している。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由 各種青少年団体の育成や組織体制の再編など停滞している。	▲ 少し遅れている(少しできていない)	× 遅れている(できていない)
	○ 進捗している(できている)	理由 各種青少年団体の育成や組織体制の再編など停滞している。			
	▲ 少し遅れている(少しできていない)				
× 遅れている(できていない)					
効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか					
<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由 青少年の指導にあたる講師や安全管理員をボランティアでお世話になるなど必要最小限の予算で対応している。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由 青少年の指導にあたる講師や安全管理員をボランティアでお世話になるなど必要最小限の予算で対応している。	▲ 少し削減の余地があった	× 削減の余地があった	
○ 削減の余地がなかった	理由 青少年の指導にあたる講師や安全管理員をボランティアでお世話になるなど必要最小限の予算で対応している。				
▲ 少し削減の余地があった					
× 削減の余地があった					

●平成22年度予算

総合計画(後期基本計画)の施策方針	1 青少年の健全育成				
平成22年度事業の概要	(何を対象に、何をするか)				
平成22年度事業の効果目標	(平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)				
予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
			国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		
事業費合計			合計		

ACTION					
改善	事業内容の方向性				
	<table border="1"> <tr> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由 継続的に体験活動事業を実施するとともに団体への支援が必要である。</td> </tr> <tr> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A 現状維持	理由 継続的に体験活動事業を実施するとともに団体への支援が必要である。	B 内容の見直し	C 統廃合・休止・終了
	A 現状維持	理由 継続的に体験活動事業を実施するとともに団体への支援が必要である。			
	B 内容の見直し				
C 統廃合・休止・終了					
事業規模の方向性					
<table border="1"> <tr> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由 青少年を取り巻く環境を考えると地域、家庭、学校との連携による青少年の育成と子どもの居場所づくりの充実が必要である。</td> </tr> <tr> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	A 事業拡大	理由 青少年を取り巻く環境を考えると地域、家庭、学校との連携による青少年の育成と子どもの居場所づくりの充実が必要である。	B 現状維持	C 事業縮小	
A 事業拡大	理由 青少年を取り巻く環境を考えると地域、家庭、学校との連携による青少年の育成と子どもの居場所づくりの充実が必要である。				
B 現状維持					
C 事業縮小					

平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調査

整理番号

社会 9

■ 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	05	01	10	01
	細事業名	家庭教育事業				

担当部署	教育委員会事務局
担当課等	社会教育課

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ④ 社会教育・スポーツの充実 施策方針 3 生涯学習推進体制の整備
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 時代を担う子どもたちの健やかな成長を支援するため、家庭、学校、地域が連携した学習機会を提供するとともに、親子の交流機会を提供し地域の教育力の向上を図る。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 子育て学習会・各種事業への参加

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 乳幼児、就学前、就学時、思春期など、子どもの発達段階に応じた親を対象にした子育て学習会や親子ふれあい事業を関係機関と連携し実施した。子育て学習会 33回;延べ1,976名の参加 親子ふれあい事業 7回;延べ152名参加 また、大宮・網野地域では、家庭教育支援チームを組織し、子どもの心理状況を把握する「手紙で結ぶ家族の絆事業」や地域課題を把握するためのアンケートの実施、親同士の情報交換を通して、相談できる人間関係を築くことを目的とした参加型の学習会の開催や相談対応などに取り組んだ。学習会 20回;延べ2
平成21年度事業の効果	家庭・地域の教育力の向上 家庭教育支援チームを核としたきめ細かな家庭教育支援体制の整備

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	8	526	国庫支出金		
	9	23	府支出金	家庭教育支援基盤形成事業補助金	404
	11	307	起債		
	12	5	分担金・負担金		
	19	707	その他		
			一般財源		1,164
事業費合計		1,568	合計		1,568

CHECK					
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">家庭教育支援チームの拡充を図り地域に密着したきめ細かな家庭教育支援体制の定着を図る。</td> </tr> <tr> <td>○ ▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>○ × 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	家庭教育支援チームの拡充を図り地域に密着したきめ細かな家庭教育支援体制の定着を図る。	○ ▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由	家庭教育支援チームの拡充を図り地域に密着したきめ細かな家庭教育支援体制の定着を図る。			
○ ▲ 少し遅れている(少しできていない)					
○ × 遅れている(できていない)					
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">研修会へ参加しやすい各小学校区及び町域を単位とした学習機会の提供が効果的である。京都府の家庭教育基盤形成事業の補助事業を活用する。</td> </tr> <tr> <td>○ ▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>○ × 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	研修会へ参加しやすい各小学校区及び町域を単位とした学習機会の提供が効果的である。京都府の家庭教育基盤形成事業の補助事業を活用する。	○ ▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由	研修会へ参加しやすい各小学校区及び町域を単位とした学習機会の提供が効果的である。京都府の家庭教育基盤形成事業の補助事業を活用する。			
○ ▲ 少し削減の余地があった					
○ × 削減の余地があった					

●平成22年度予算

総合計画(後期基本計画)の施策方針					
平成22年度事業の概要	(何を対象に、何をするか)				
平成22年度事業の効果目標	(平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)				
予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
			国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		
事業費合計			合計		

ACTION								
改善	事業内容の方向性							
	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">家庭環境の多様化、地域のつながりが希薄化する中で、家庭教育の果たす役割はますます重要となる。地域課題に即した学習会を継続して実施する必要がある。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A	A 現状維持	理由	家庭環境の多様化、地域のつながりが希薄化する中で、家庭教育の果たす役割はますます重要となる。地域課題に即した学習会を継続して実施する必要がある。		B 内容の見直し	
A	A 現状維持	理由	家庭環境の多様化、地域のつながりが希薄化する中で、家庭教育の果たす役割はますます重要となる。地域課題に即した学習会を継続して実施する必要がある。					
	B 内容の見直し							
	C 統廃合・休止・終了							
改善	事業規模の方向性							
	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">家庭教育の重要性が高まる中で、多様な子育て支援体制を構築する必要がある。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	A	A 事業拡大	理由	家庭教育の重要性が高まる中で、多様な子育て支援体制を構築する必要がある。		B 現状維持	
A	A 事業拡大	理由	家庭教育の重要性が高まる中で、多様な子育て支援体制を構築する必要がある。					
	B 現状維持							
	C 事業縮小							

平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調査

整理番号
社会 37

■ 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称 一般会計	款 10	項 06	目 02	事業 04	細事業 01
細事業名	青少年スポーツ教室事業					

担当部局 教育委員会事務局
担当課等 社会教育課

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ④ 社会教育・スポーツの充実 施策方針 1 社会教育体制の確立
事業の目的 (どのような目的で事業を実施するか)	青少年のスポーツ競技力・運動能力の向上を図るとともに、健全育成を目指す。
平成26年度 事業の効果目標	(平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)
事業の継続と、教室数の拡大	

DO	
平成21年度 事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 地域に根ざした様々なスポーツ教室を実施した。その指導者へ謝金を支払った(月額4,500円)を支払った。
平成21年度 事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 市内で59のスポーツ教室を実施し、児童のスポーツ競技力、体力の向上及び健全育成与した。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	8	3,155	国庫支出金		
	11	18	府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		3,173
事業費合計		3,173	合計		3,173

CHECK		
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか	
	○ 進捗している(できている)	理由 小学生の段階からスポーツに親しむことで、スポーツ競技力、体力の向上、及び健全育成が図られる。
	▲ 少し遅れている(少しできていない)	
	× 遅れている(できていない)	
効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか		
○ 削減の余地がなかった	理由 月額4,500円の指導謝礼、年1回の広報チラシ紙代であり、謝金支払額は、教室数の増減によるが、この要素以外に削減の余地はない。	
▲ 少し削減の余地があった		
× 削減の余地があった		

●平成22年度予算

総合計画(後期基本計画)の施策方針					
平成22年度 事業の概要	(何を対象に、何をするか)				
平成22年度 事業の効果目標	(平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)				
予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
			国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		
事業費合計			合計		

ACTION		
改善	事業内容の方向性	
	A 現状維持	理由 次代を担う青少年が、スポーツに親しむ機会として貴重である。競技力・運動能力の向上だけでなく、健全育成にも寄与する。
	B 内容の見直し	
	C 統廃合・休止・終了	
	事業規模の方向性	
	B 現状維持	理由 少子化などにより、若干の教室数の増減はあるものの、概ね現状のままと考えられる。
A 事業拡大		
C 事業縮小		

平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調査

整理番号

社会 3

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	05	01	04	01
	細事業名	成人式開催事業				

担当部署	教育委員会事務局
担当課等	社会教育課

■ 事務事業評価

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ③ 若者の育成 施策方針 2 まちづくりへの若者の参加促進
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 京丹後市の新成人を一堂に集め、成人としての門出を祝う場として式典を開催する。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 成人式の出席率 80%以上

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 新成人の門出を祝うために、市内新成人が京都府丹後文化会館に一同に会して式典を開催した。積雪の少ない3月に式典を開催するなど、参加される方に配慮している。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 成人式出席者 622人(出席率83%)

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	8	1,243	国庫支出金		
	11	41	府支出金		
	12	163	起債		
	13	15	分担金・負担金		
	14	220	その他		
			一般財源		1,682
事業費合計		1,682	合計		1,682

CHECK			
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか	理由	出席率は、年によって若干の変動はあるものの80%に達している。
	○ 進捗している(できている)		
	○ ▲ 少し遅れている(少しできていない)		
	○ × 遅れている(できていない)		
	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか	理由	必要最低限の事業費で開催しているため、コスト削減は難しい。
	○ 削減の余地がなかった		
	○ ▲ 少し削減の余地があった		
	○ × 削減の余地があった		

●平成22年度予算

総合計画(後期基本計画)の施策方針					
平成22年度事業の概要	(何を対象に、何をするか)				
平成22年度事業の効果目標	(平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)				
予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
			国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		
事業費合計			合計		

ACTION			
改善	事業内容の方向性		
	A	A 現状維持 B 内容の見直し C 統廃合・休止・終了	理由 少子化社会のなかで、次代を担う新成人への期待は大きく、市として社会人の一員となる若者の門出を祝うことは重要である。
	B	A 事業拡大 B 現状維持 C 事業縮小	理由 新成人の門出を祝う伝統的な事業であり、今後も継続して実施する必要がある。

平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調査

整理番号
教総 3

■ 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	01	03	01	01
	細事業名	奨学金給付等事業				

担当部局	教育委員会
担当課等	教育総務課

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ① 子育ての支援 施策方針 2 子どもの健やかな成長支援
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 経済的に困窮している家庭の高校生、大学生等を対象に奨学金を給付することにより、修学を奨励する。 事業の效果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 高校生 75人給付 大学生等 50人給付

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 経済的に困窮している家庭の高校生、大学生等を対象に、給付該当者を京丹後市奨学金選考・検討委員会において選考し、高校生月5,000円、大学生毎月10,000円を給付した。
平成21年度事業の效果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 高校生 47人給付 大学生等 54人給付

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	1	16	国庫支出金		
	9	2	府支出金		
	20	9,300	起債		
			分担金・負担金		
			その他	奨学金基金繰入金	9,300
			一般財源		18
事業費合計		9,318	合計		9,318

CHECK		
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか	
	○ 進捗している(できている)	理由 未来ある生徒及び学生の修学への支援ができ、設定した成果指標は概ね達成できたと考える。
	○ ▲ 少し遅れている(少しできていない)	
	○ × 遅れている(できていない)	
効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか		
改善	○ 削減の余地がなかった	理由 厳しい経済状況の中で、勉強意欲と能力のある生徒及び学生の修学支援をするために重要な事業であるため削減の余地はなかった。
	○ ▲ 少し削減の余地があった	
	○ × 削減の余地があった	

●平成22年度予算

総合計画(後期基本計画)の施策方針					
平成22年度事業の概要	(何を対象に、何をするか)				
平成22年度事業の効果目標	(平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)				
予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
			国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		
事業費合計			合計		

ACTION		
改善	事業内容の方向性	
	A 現状維持	理由 18年度から19年度で奨学金制度の見直しを行った。20年度から改正後の制度で修学支援ができていますので現状維持とする。
	B 内容の見直し	
	C 統廃合・休止・終了	
	事業規模の方向性	
	B 現状維持	理由 勉強意欲と能力のある生徒及び学生の奨学金として修学支援を今後も続けていく為に現状維持とする。
A 事業拡大		
C 事業縮小		